

》長期ビジョン 2035《



公立大学法人

九州歯科大学

アクションプラン

KYUSHU
DENTAL
UNIVERSITY



INDEX

1. 目的・背景等	3
2. 長期ビジョンの位置付け	4
3. 長期ビジョンの期間	5
4. 長期ビジョンとアクションプラン	
教育	6
研究	9
診療	14
地域連携・国際連携	18
法人運営	19



1 目的・背景等

本学の歩み

本学は1914年の開設以来、患者中心の歯科医療を提供できる歯科医師や歯科衛生士を数多く輩出し、全国唯一の公立歯学部・歯科大学として、2024年に創立110周年を迎えた。2014年の創立100周年を機に、次なる世紀に向けた新たな大学づくりに踏み出すにあたり、「九州歯科大学憲章」を掲げ、「口腔医学の総合大学」として、充実した教育・研究・臨床活動の展開に取り組んでいる。

本学を取り巻く環境の変化

2004年に公立大学法人化以降、本学を取り巻く環境は大きく変化し続けている。特に新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、社会情勢は劇的な変化を迎え、「アフターコロナ」の状況下で持続可能な社会の再構築が求められている。また諸外国と比較しても我が国の少子高齢化の動きは加速の一途をたどり、2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%になると推計されている（厚生労働省HP）。これに対応するために、厚生労働省は地域包括ケアシステムの構築を推進しており、令和元年に閣議決定された「成長戦略実行計画」において、予防医療の充実による健康寿命の延伸が掲げられている。

歯科医療においては、「全身疾患を有する治療の難度・リスクの高い歯科治療」の需要が高まり、各ライフステージや体の状況に応じた「地域完結型」の歯科医療の構築とそれを担う歯科医療人の育成や新たなステージの歯科医療を支える質の高い研究の遂行が求められている。特に北九州市は全国の政令指定市のなかで最も高齢化率が高く、2040年には37.7%に到達すると推計されており、本学は世界最速でこの課題に直面するフロントランナーとしての使命を抱えている。

長期ビジョンの必要性

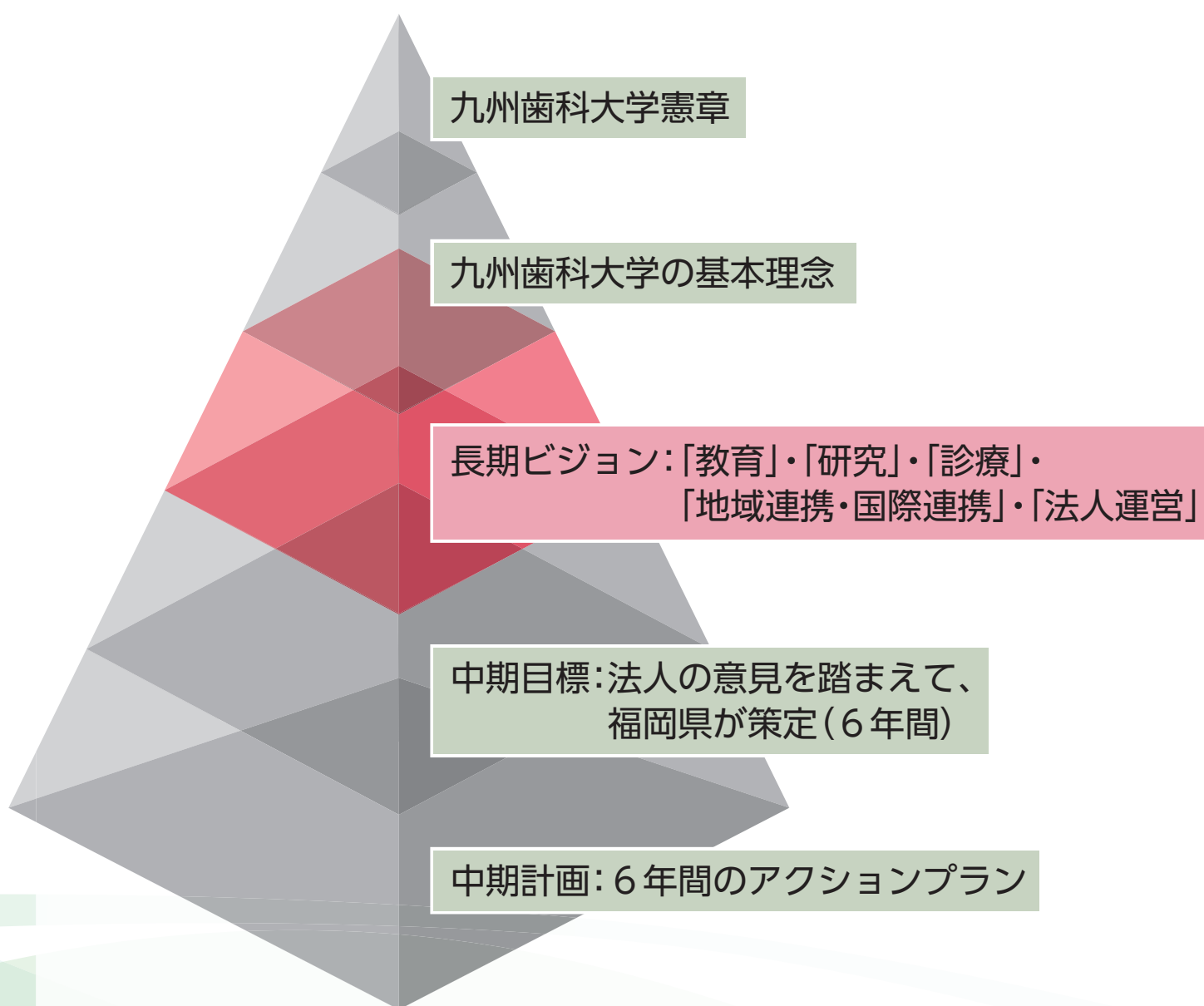
大学がこれまで蓄積してきた知識や経験を結集し、劇的な転換期に差し掛かっている歯科医学や歯科医療のさまざまな課題へ取り組み、最適解を示していくことが、歯科大学や歯学部に課せられた重要な役割である。

このような状況のなかで、九州歯科大学がさらなる発展を目指す上で、6年間の中期計画を超えた長期ビジョンを策定し、本学が「将来目指すべき姿」を明確化する機運が高まった。本学で学び、働くすべての人々がビジョンを共有し、これに基づく取り組みを進めていくことで、本学の持続的で明るい未来の創造に繋げていく。

長期ビジョンは、「教育」、「研究」、「診療（附属病院）」、「地域連携・国際連携」、「法人運営」の5分野で構成する。

2 長期ビジョンの位置付け

- 長期ビジョンは、「九州歯科大学憲章」や「九州歯科大学の基本理念」を基盤に、長期的な期間における本学の到達目標として、公立大学法人としてあるべき姿、目指すべき姿を学内外に示す大方針とする。
- 長期ビジョンは、すべての学生および教職員が、明るい未来を創造するための指標とする。
- 長期ビジョンは、中期目標や中期計画の策定の基盤となるものであり、中期および年度計画のアクションプランにより実行されるものとする。



3 長期ビジョンの期間

- ・地方独立行政法人法により、中期計画期間が6年間に設定されていることを鑑み、現行の第4期中期計画（2024年度～）を含め、2期分の中期計画期間を長期ビジョンの期間とする。
- ・長期ビジョンの期間は2025年度～2035年度とする。

長期ビジョンと中期計画のタイムライン

年度		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
長期ビジョン			第 1 期ビジョン（ビジョン 2035）										
												第 2 期 ビジョン策定	
中期計画	第 4 期 （現行）												
	第 5 期	第 5 期中期計画策定											

※長期ビジョンは、本学を取り巻く環境の変化や取組状況などを踏まえて、必要に応じて適宜見直しを行う



目指す姿

日本そして海外の歯科医療を牽引する
全人的歯科医療人を育成します。

教育指針

1. 学生の能動的かつ主体的学習を育成します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)卒前教育の質の向上	・効率的な教育と学修環境の提供	①全科目に ICT を活用した学修プログラムを導入する。 ②ラーニングコモンズ施設を拡大、充実させる。 ③講義時間の最適化を図る。
(2)デジタル技術などを活用した新たな教育システムの導入	・単位制への移行も見据えた教育システムの導入・推進	①講義・実習の動画アーカイブ化を行う。 ②座学の 50% の科目のオンライン（オンデマンド）講義とする。 ③基礎実習において対面とオンラインのハイブリッドモデルを導入する。 ④生成 AI を活用した個別化学習システムを導入・強化する。 ⑤口腔保健学科学生のダブルライセンス（栄養士）取得や歯学科編入のためのプログラムを構築する。
(3)問題解決能力及び研究能力の向上	・PBL や研究室配属の充実	①歯学科・口腔保健学科合同の PBL を開講する。 ②SRP の受講率を上げ、SCRIP を目指す。 ③学科横断型の卒業研究を実施する。

2. 地域包括基盤となる多職種連携教育を充実させます。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)多職種連携教育プログラムの充実	・医療人としての幅広い視野の獲得	①保健・医療・福祉関連他大学との教育連携を構築する。
(2)地域基盤型歯学教育カリキュラムの構築	・地域に関連した幅広い健康問題の学習	①北九州地区の他大学との連携を構築する。 ②他大学の学生とのケーススタディを基盤としたプログラムを構築する。

3. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を育成します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)グローバル教育プログラムの整備	コミュニケーションツールを介した海外歯学部との情報交換会の実施	①情報交換会の枠組みを構築し、カリキュラムの改編を行う。 ② ICT を介した情報交換会を実施する。

4. 最短修業年限での国家試験合格率を維持・向上させます。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)振り返り学修の充実	継続可能な学修遂行のための環境の整備とモチベーションの維持	①科目を跨いだ内容の実習を統一する。 ②倫理的判断力の養成に向けた教育プログラムを導入する。 ③反復学修（動画アーカイブ）を提供できる環境を構築する。 ④学生の成績に応じたインセンティブを設定する。
(2)診療参加型臨床実習の拡充	現在の歯科医療の進歩に対応した教育環境の整備	①臨床能力向上のための自修トレーニングの環境を構築し、併せてコミュニケーションスキル向上の生成 AI を用いた評価システムを導入する。 ②附属病院の機器類（口腔内スキャナー、CAD/CAM システム、ミリングマシン、3D プリンター、Er:YAG レーザなど）を充実させる。
(3)教育 IR センターによる評価システムの充実	教育に関するデータに基づいた教育改善の実施	①情報関連学部との連携を構築し、成績管理・分析を実施し、教育支援を行う。 ②教育 IR センターの人員を充実させ、学生の成績データに基づく教育支援の情報提供を行う。
(4)適切な評定・評価の定期的な点検整備	成績評価の信頼性の担保	①成績評価の基準の明確化と透明化を実現する。



5. 学生の生活支援、キャリア教育を充実させます。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)修学環境に対する支援の拡充	・生活面や学業面の効果的なサポート	①カウンセラーによる支援を促進する。 ② AI を活用した出欠状況や成績に関する早期アラートを発出するシステムを導入する。
(2)アントレプレナーシップ教育の強化	・課題解決能力や他者と協働する能力を醸成	①多様なキャリアパスを提示する科目を導入する。 ②低学年に研究・教育・臨床・起業などの専門家と交流する科目を導入する。 ③キャリアサポートセンターを設立する。

6. 教員の資質を磨き、教育者としての質を確保します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)科学的根拠に基づいた教育を実践し、学問の発展へ寄与する教員の育成	・教育・研究スキル向上の場の提供	①学会や研修会への参加のためのサポート体制（参加費・代休）を構築する。 ②機器や試薬のリスト化による研究情報の共有体制を構築する。 ③専門性を考慮したうえ、職位毎に論文数、h-index、g-indexなどの基準を設定する。
	・教育成果の評価システムの構築・導入	①学生の到達度に基づく教育成果に関する評価システムを作成する。 ②評価システムに基づいた各教員の教育評価を行う。 ③評価が優秀な教員の表彰を行う。
(2)教育スキルの醸成とアップデートを目的としたFD活動の推進	・FD 活動の再構築	①表彰された教員による教育の工夫に関する講義を導入する。 ②講義や実習の相互見学プログラムを導入する。 ③DX を用いた講義手法の修得を目的とした講義を導入する。

研究

目指す姿

アジアトップレベルの歯科医学研究を展開します。

研究指針

1. 歯科医学を支える先進的で独自性の高い研究を推進します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)研究を推進するための体制を構築	研究を推進するための組織を新設	①研究支援室を設置する。 ②フレキシブルな研究体制の構築や大型研究費の獲得を目指すための研究センターを設置する。 ③PARKS と WAT-NeW に加入し、西日本の各大学と研究連携を構築する。
(2)持続可能な研究推進のための研究資金の確保	外部資金の獲得	①PARKS のギャップファンドの採択を目指す。 ②AMED、CREST などの大型研究費の複数件獲得を目指す。
(3)先端医学研究に対応可能な実験設備の整備	分子生物学分野、再生医療分野、バイオマテリアル分野、AI とデジタル技術分野、疫学および地域保健分野を推進し得る最先端機器の導入	①マイクロ CT と FACS などの最新機器を整備する。 ②中央動物実験施設を再建する。 ③研究センターに研究器材を集約し、大学レベルで研究器材を管理、整備、更新する。 ④主要設備の段階的導入および設置する。



2. 地域社会に貢献できる研究を推進します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)福岡県・北九州市における地域特化型の研究テーマの設定と推進	・高齢化社会への対応 ・地元企業との親密な共同研究の実施	①研究センターで加齢研究チームを組織し、高齢者特有疾患の予防や治療法の研究を推進する。 ②研究センターで地域歯科保健研究チームを組織し、地域住民を対象とした研究を実践する。 ③クロスアポイントメント制度などを利用し、地元企業との産学連携を強化する。
(2)研究成果の地域社会への還元	・地域住民向け公開講座の開催 ・診療と研究の連携モデルの構築	①研究成果を地域住民にわかりやすく伝える公開講座を定期開催する。 ②診療所と大学間でのデータ共有システムを構築し、研究と実践を結びつける。
(3)多様な地域課題への対応力を強化するための人材の育成	・地域社会のリカレント教育のニーズへの対応	①地域（地元企業）から社会人大学院生を幅広く受け入れる。 ②地域特化型プログラムを大学院に設置し、地域社会に貢献できる歯科医療従事者を養成する。

3. 国際的・学際的な研究を活性化します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)国際的な研究ネットワークの構築	・国際共同研究プロジェクトの推進 ・海外拠点の設置	①アジアをはじめとした海外の歯学・医療系大学、研究機関との共同研究を立ち上げる。 ②海外の大学や研究施設と連携を結び、海外に本学の研究拠点を設置する。
(2)学際的研究プログラムの開発	・異分野連携研究の促進	①医学、工学、生物学、IT 分野との連携を強化し、新しい歯科治療法や技術を開発する。
(3)グローバル人材の育成	・海外からの教職員の積極的な採用 ・大学院への多くの留学生の受け入れ ・研究者の流動性の向上	①すべての書類を英語併記する。 ②大学院の9月入学プログラムを開始する。 ③協定を締結し、JICA 経由で海外大学院生や博士研究員を受け入れる。 ④国内外の大学や研究施設と連携協定を締結する。 ⑤日本人研究者の短期・長期の海外派遣を増やし、国際的な経験を積む機会を提供する。

4. 研究者間の連携・協働によるイノベーションを創発し、自走できる研究組織を目指します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)自走型研究組織の育成	研究者個人の興味や研究の目的に応じた研究の実践	①特許取得や製品開発に向けた支援体制を整備し、研究成果を社会へ還元するプロセスを支援する。 ②クラウドファンディングを実施し、地域や企業の支援を募る。 ③研究費獲得にむけて研究支援室による支援体制を構築する。 ④各研究者が、大型の研究費申請に挑戦できるように、不採択時の支援体制を構築する。 ⑤科研費申請有資格者の申請率 100% を目指す。
(2)研究者間の連携・協働を促進するための組織体制の構築	分野横断型の研究チームの編成	①歯科医学、バイオテクノロジー、データサイエンス、材料科学など、異分野の研究者を集めた「クロスファンクショナルチーム」を設置する。 ②大学発ベンチャーを推進する。 ③産学連携研究を推進する。



5. 大学院生を含む若手研究者を育成します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)若手研究者が活躍できる環境の構築	- 内部研究資金の配分 - 共同研究スペースの設置	①若手研究者専用の研究助成金（シードマネー）を設け、独自の研究テーマに取り組む機会を提供する。 ②研究支援室で若手研究者の研究費獲得を支援する。 ③研究支援室で日本学術振興会の研究助成申請を支援する。 ④大型研究費を獲得し、若手研究者に人件費を捻出する。 ⑤20名以上の博士研究員（学振を含む）が学内研究に従事する状況を目指す。 ⑥学際的・協働的研究が進めやすいラボ環境やコワーキングスペースを整備する。
(2)若手研究者のスキルアップ制度の構築	- リサーチスキル向上のためのトレーニング - 指導教員と専門メンターによる複数支援体制 - 短期・長期の研究留学支援	①最新の研究手法を取得のための講座を開講し、受講の支援をする。 ②指導教員に加え、他分野の研究者や産業界からのメンターが支援する「メンターグループ制度」を導入する。 ③若手研究者向けに海外の研究機関への留学プログラムを整備し、滞在費や研究資金を補助する。
(3)シニア研究者以外のキャリアパスの提示	産学官における連携の拡充	①産業界（研究開発・技術マーケティング）、行政（科学政策専門家）、教育、起業・スタートアップ、メディア、国際機関などと学校またはセンターとの多彩な連携を通じ、大学院生や若手研究者の自由度の高いキャリアアップを支援する。



6. 研究成果の発信力を強化します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)学術的な発信力の強化	- 研究成果のオープンアクセス - 積極的なプレスリリース	①附属図書館と連携し、転換契約を活用して、ゴールドオープンアクセスの論文数を増やす。 ②学内の広報組織と連携し、研究成果を発信するシステムを構築する。 ③附属図書館と連携し、研究成果のグリーンオープンアクセスのためのリポジトリを設置する。 ④研究成果のプレスリリース率50%超を目指す。
(2)発信基盤の整備	- 広報活動への参画 - デジタルプラットフォームの拡充 - 科学リテラシーを高めるコンテンツ制作	①学内の広報活動に研究担当チームを設置し、研究成果の対外発信を専門的に支援する。 ②SNSやYouTubeを活用した短尺動画やインフォグラフィックの作成を推進する。 ③一般向けに、歯科医学に関する最新の知識や研究成果を分かりやすく伝える解説記事、動画、ポッドキャストを制作する。
(3)産業界への発信	企業連携プラットフォームの構築	①大学内に「産業連携室」を設け、研究者と企業がつながる仕組みを整備する。 ②ニュースレターやウェブサイトを通じて、研究成果を業界に発信する。



目指す姿

病院機能の充実を図り、地域と連携した高度先進医療を提供します。

診療指針

1. 病院機能の強化・充実を図ります。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)地域のニーズに合わせた診療科の新設、見直し	・診療科の再編・新設による病院機能の強化	①現存の診療科の再編や専門的訪問診療を拡充するなど、病院機能の強化を目指す。 ②形成外科などを含めた高度医療センターを新設し、口腔顎顔面部の総合的な審美治療を行える体制を作り、自費治療の充実を目指す。
(2)外国からの患者を受け入れるグローバル体制の構築	・外国患者の受け入れ体制の整備	①国際医療ツーリズムの推進に向けた専門部署を新設する。
(3)歯科衛生士を中心とした口腔健康管理による健康維持・増進への貢献	・予防・メンテナンス部門の強化	①歯科助手を増員し、受付業務、片付け・滅菌業務など歯科助手と歯科衛生士の分業を推進する。 ②歯科衛生士も増員し、自費を含めた専門的メンテナンスを行う診療科を新設する。



2. 安全で質の高い高度先進医療を提供します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)最先端の設備を備え、最新の治療と安全で質の高い診療環境を提供	• 病院の大規模改修やチェアへの入れ替えなどによる診療環境の整備	①病院の建て替えや大規模改修を行い、最新の診療環境を整備する。 ②専門的な立場から推奨する口腔ケア物品を売店や販売機で購入できるようなエリア（歯ブラシマーケットなど）も併設する。 ③病院機能評価の受審のための体制を構築する。
(2)最新のデジタル技術を活用した診療プロセスの効率化と安全性の向上	• 診療におけるデジタル化の推進	①口腔内スキャナを各診療室に設置するとともに、CAD/CAM や 3D プリンターを用いた院内でのデジタル技工システムを構築する。
(3) ICT を活用したオンライン（遠隔）診療などによるサポート体制の構築	• 遠隔診療やバーチャル診療の導入	①ICT を活用した医科歯科連携や遠隔健康医療相談などのサポート体制を構築する。 ②VR を活用した外科手技の研修やアバターを介したバーチャル診療なども導入する。

3. 地域の医療機関との連携を図ります。

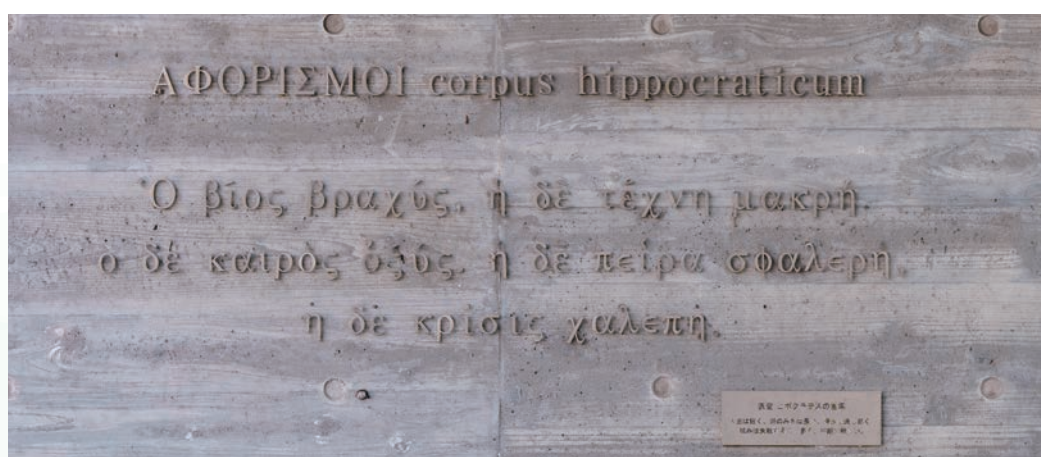
ビジョン	ターゲット	プラン
(1)地域の中核病院との連携体制の強化（「病院完結型」から「地域完結型」へ）	• 地域の中核病院との連携の強化	①小倉記念病院、小倉医療センター、産業医科大学、戸畑共立病院、市立八幡病院など近隣中核病院と医療機能連携協定を結び、連携を強化する。 ②高齢患者の増加に備えて、診療科内における CBCT などの設備を充実させる。
(2)医療的ケア児など地域のスペシャルニーズへの対応強化	• 医療的ケア児に対する診療体制の整備	①医療的ケア児への対応強化のため、専門スタッフのトレーニングやバリアフリー設備の整備、地域や北九州市立総合療育センターとの協力体制の構築などを行う。 ②医療的ケア児に対する訪問診療の提供体制を拡充する。
(3)治療内容に応じた各専門医による訪問診療体制の構築	• 歯科専門医による訪問診療の実践	①外科・保存・補綴処置から摂食嚥下リハビリ、食事指導に至るまで治療内容に応じて各専門医が対応できる体制（現口腔リハビリテーションセンターの機能拡大）を構築する。 ②訪問診療コーディネーターを配置し、介護従事者、歯科専門医や管理栄養士などで構成される在宅医療チームと連携する。 ③訪問診療のクリニカルパスを確立し、診療の質と安全性を確保する。

4. 質の高い臨床研修プログラムを確立します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)卒前教育から卒後教育までの統合型カリキュラムによる学生の臨床能力の向上	・クリニカルパスの統一を図り、学生から研修医までのシームレスな教育の実践	①基本的診療のクリニカルパスを統一するとともに、指導教員や担当患者の継続性を保つことで、シームレスな学びの一貫性を強化する。
(2)専門医を取得できる研修プログラムの提供や多様なキャリアパスの提示	・専門医取得に向けての教育プログラムの整備	①複数の診療分野の臨床が学べる環境を整備し、どの分野の専門医でも目指せるよう専門研修システムを病院内で共有する。
(3)歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士に対するリカレント教育の導入	・職場復帰を支援するためのリカレント教育の実践	①歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の各コース別の専門的な研修およびOJTを基盤にした復職支援を行う。

5. 安定した病院運営・経営基盤を確立します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)効率的経営構築のためのIT・DX化による病院経営収支の把握・分析	・専門家による経営戦略の分析・立案	①副理事長や外部の専門家（第三者機関）を中心とした経営戦略室を設置する。 ②病院機能を維持するための財源確保や新たな設備投資などの経営戦略を立てる。
(2)最先端の設備導入や既存の機器更新を見据えた病院収益の確保	・病院の増収に向けた診療科の整備	①収益の高い診療科に対して積極的なスタッフの増員を行う。 ②自費治療を中心とした高度医療センターやメンテナンス担当診療科を新設し、増収を図る。
(3)持続可能な病院運営のための働き方改革の推進	・病院における働き方の改善・効率化	①業務のデジタル化を進めながら、シフト制など柔軟な勤務時間の導入を図る。 ②キャッシュレス決済を拡充し、受付業務の効率化を図る。



6. 附属病院の発信力を強化します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)附属病院内での広報活動の充実	附属病院内の広報に関する体制および設備の充実	①附属病院の広報を充実させる。 ②院内の掲示物を統括する部署を設置し、病院全体で統一性のある掲示にする。 ③診療室毎にモニタを設置し、新しい情報提供を行う。
(2)病院の取り組みや最新の医療情報に関する外部への積極的な情報発信	ホームページや SNS を通じた附属病院における診療活動に関する積極的な発信	①附属病院のホームページを充実させ、当院で行っている最新の治療法や設備について、患者にわかりやすく説明する。 ②福岡県に対しての発信力も高める。



地域連携・国際連携

目指す姿 「地域」や「世界」と積極的につながり、
歯科医学の発展に貢献します。

地域連携・国際連携指針

1. 地域医療の充実や歯科医療の発展に貢献します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)医療関連団体との連携システムの強化	- リカレント教育プログラムの構築と研修事業の展開 - 頻発する災害に備えた歯科医療提供体制の充実	①潜在的な歯科医療人の発掘や復職支援、現役歯科医療人の研修を目的として、地域の専門学校、養成学校ならびに歯科医師会や歯科衛生士会などと連携し、リカレント教育プログラムを構築し、研修事業を展開する。 ②近隣大学や医療関連団体、および日本災害歯科支援チーム(JDAT)などと連携し、本学における災害時の歯科医療人派遣システムを構築する。
(2)地域包括ケアシステムへの積極的な参画	地域を対象とした口腔健康管理に関する啓発活動の積極的な展開	①地域を中心とした各地域の介護施設、各種学校と連携し、口腔健康管理（口腔衛生管理，口腔機能管理）に関する啓発活動や出前教室を行う。 ②地域住民を対象とした健康フェアや歯科健康教育セミナーなどを定期的開催する。
(3)地域密着型の教育研修プログラムの確立	地域医療を学修するための教育プログラムの充実	①学部学生が地域の歯科診療所や総合病院での臨床実習を通じて、地域医療を体験する教育研修プログラムを開講する。

2. 海外の大学との連携・交流を強化します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)国際的な学術交流の充実	- グローバルな視野を持った歯科医療人育成のための新たな海外研修プログラムの創出 - 留学生受け入れプログラムの強化	①学部学生および大学院生の短期留学や教員の1-2年の研究留学の支援体制を構築する。 ②留学生受け入れプログラムを強化し、英語での授業や国際歯科資格の取得をサポートする。 ③英語版ウェブサイトを実装させる。 ④教員・学生の海外ボランティア派遣への支援体制を構築する。

目指す姿 **成長と共に持続可能な法人運営を
確立します。**

法人運営指針

1. ダイバーシティを軸とした組織基盤・人材基盤を確立します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)プロフェッショナルの育成	育成システムの確立と昇格制度の導入により、専門性の高い職員を採用する。	①研修指導プログラム作成及びフォローアップ体制を整備し、プログラムを実施、以降、毎年度実施検証する。 ②准教授、講師、部長、課長、主査の採用時に昇格制度を順次導入し、必要に応じて新規職員採用試験を実施、2035年度までに80%の職員をプロパー化する。
(2)教職員の適性を活かした人事配置を徹底	能力別評価制度を導入し、事業等の必要性に応じた柔軟な人事異動及び人事配置を実施する。	①能力別評価制度設計～評価制度トライアル実施～評価制度導入検証～人事異動に反映し、以降、毎年度実施検証する。 ②定期異動以外の時期に必要な応じて人事異動を実施する。
(3)教職員の適性を活かす組織を確立し、教職連携を推進	学部大講座制、法人部門制を導入し、迅速かつ明確な業務遂行が可能な組織づくりを行う。	①学部に大講座制導入する。 ②法人に5部門制（教育、研究、病院、連携、法人）を導入、部門長及び副部門長を配置する。
(4)多様な働き方を推進し、安定した職場環境を構築	働き方改革の推進(勤務日数及び勤務時間の多様化)	①フレックス制度、時短制度を導入する。 ②産休育休の取得促進、および取得者以外への手当の支給を検討する。

2. 財源と資産を効果的に活用し、個性を発信します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)継続的な財源確保	財務構造改革及び有形固定資産活用を実行し、継続的な健全財政を確立	①経営企画室を設置し、財務改革執行体制を整備する。さらに、現在の会計及び服務取扱いについて、構造改革ワーキンググループを設置する。 ②収支両面から財源効果を検証し、損失解消を目指す。 ③交付金算定基礎数値への通年対策を実施する。 ④各種補助金のリサーチ及び申請補助を実施する。 ⑤有形固定資産活用による教育研究環境を整備する。
(2)中長期的観点を重視した財源措置	中期目標及び中期計画事業については、中期単位（6年間）の予算を確保し、確実に達成	①第4期中期計画分より、中期単位の予算編成を実施する。

3. 業務効率化を徹底し、生産性を向上させます。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)業務パフォーマンスの向上	オフィスマネジメントの推進	①教職員間の業務連絡については、システムカレンダーやチャットを徹底し、タイムパフォーマンスを向上させる。 ②グループアドレスなどを導入し、記録のアーカイブ化を徹底する。 ③ミーティング資料、会議資料、決裁文書を完全ペーパーレス化する。 ④事務改善提案の募集及び予算措置を実施する。
(2)業務サービスの質向上	プライオリティを重視した業務改善を実施	①重複会議などの統廃合を実施する。 ②事務マニュアル及びトレーニング環境を整備する。 ③働き方改革を促進するためのSDを実施する。

4. 情報マネジメントを徹底し、効率的かつ効果的な情報発信を強化します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)データセキュリティの強化	・情報の収集と管理を一元化	①情報管理を所管する課を設置して個人情報及び機密情報の一元化と厳重管理し、クローズドオフィスでの執務を徹底する。 ②教育 I R センターと連携し、網羅的な情報連携を強化する。 ③全教職員にファイルサーバを割当、電子ファイルのクラウド保管を徹底し、データセキュリティを強化する。 ④電子メール外部送信時のファイル送信サービスを利用し、誤送信を防止する。
(2) I R を軸とした学生募集及び学生教育を展開	・広報活動と学生募集の連携強化	①入試を所管する課において個人情報及び機密情報を厳重管理し、クローズドオフィスでの執務を徹底する。 ②教育 I R センターと連携し、効果的な学生募集活動を展開する。 ③教育研究活動の情報を一元化し、効率的・効果的な情報発信を推進する。

5. 内部統制を強化し、健全な法人運営を継続します。

ビジョン	ターゲット	プラン
(1)業務の有効性や効率性を確保	・ガバナンス・コードのアップデートを継続	①法規専門業者と契約し、内部統制におけるガバナンスを強化する。
(2)コンプライアンスの遵守徹底	・ハラスメント防止などの従業員教育を徹底	①参加型のハラスメント教育を実施し、意識改革を図る。 ②第三者的視点を取り入れた相談体制を整備する。



<https://www.kyu-dent.ac.jp/>



公立大学法人

九州歯科大学

〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴 2-6-1